

災害に強い町を目指して

能登町総合防災訓練

洪水や土砂災害に備える

10月3日、第10回能登町総合防災訓練が内浦地区を会場に行われました。

この訓練は、災害発生時における迅速かつ的確な防災活動の実施や防災意識の啓発を図るため、毎年行っています。今年度は、豪雨により全国で頻発している洪水や土砂災害を想定した訓練を初めて実施し、7機関・団体のあわせて150人が災害への備えを再確認しました。



【土のう積み訓練】地元住民らと協力して土のうを積み上げる



【排水訓練】駐車場から中継を挟み九里川尻川までホースを延長



簡易 TENT を組み立てる防災士ら（左）と設置された TENT を見学する親子連れ（右）▼



○訓練スケジュール
8時45分
【大雨洪水警報発表】
8時50分
役場に災害対策訓練本部設置
9時00分
【土砂災害警戒情報発表】
9時05分
【松波地区に避難指示発令】
9時10分
内浦総合支所にて避難所開設訓練 内浦総合運動公園にて排水訓練、 土のう積み訓練

訓練は、早朝からの豪雨により松波川の水位が上昇、午前8時45分に大雨洪水警報が発表されたことを受け、災害対策本部を役場に設置。さらに午前9時に土砂災害警戒情報が発表され、堤防の決壊の恐れや土砂災害の前兆現象が確認されたため、松波地区に避難指示を発令したという想定で行われました。

内浦総合支所で行われた避難所開設訓練では、新型コロナウイルス感染症を踏まえた訓練が行われ、防護服やフェイスガードを身に付けた町職員らが、検温や健康チェックなど受付の対応や手順を確認しました。また、避難所ではゾーン

グを取り入れ、事前受付で①発熱・せき等の症状がある方②一般の方③要配慮者の方に振分けられた後、症状がある方と交わらないように、それぞれの避難スペースに案内しました。ホールでは、町防災士会や町職員らが協力し、避難生活を想定した間仕切りや簡易 TENT を設置する訓練が行われました。そのほかテレビや音声告知器、Wi-Fiなどの情報提供環境も整備され、避難者の受け入れに万全を期していました。

内浦方面隊の5分団がポンプ車からホースを延長し、冠水してたまった水に見立てた水槽の水を九里川尻川へ排水しました。土のう積み訓練は、地元自主防災組織の「第一元組町内会自主防災会」、「第二八幡自主防災組織」、消防団、役場職員らにより行われました。陸上競技場の観客席を堤防に見立て、作成した土のうを協力して運び積み上げていました。

自主防災組織を結成しよう！

現在、町では56の「自主防災組織」が結成され、各地域で活動しています。

自分たちの命を自分たちで守る自主防災。非常時には、地域をよく知っているからこそ「細やかな対応ができる」、「迅速な対応ができる」というメリットがあります。これを生かし、地域全体で防災意識を高め、風水害や地震、火災による被害の防止や軽減など、住民自らが活動を進めていくことが大切です。

あなたの地域も、これらの中心的な役割を担う「自主防災組織」を結成し、防災活動を通じて地域の防災力を高めませんか。

町では、自主防災組織の結成から活動までをサポートしており、出前講座などでアドバイスするほか、「自主防災組織育成事業」として、年間最大200万円の補助金を交付しています。詳しくはお問合せください。

「防災のプロ」 防災士になろう！

高めよう 防災意識

町では、正しい知識と適切な判断を兼ね備えた「防災士」の育成に努めており、防災士資格取得の費用を補助しています。

今年度第2回目の自主防災組織リーダー（防災士）育成研修講座の受講日程は次のとおりです。まだ申し込み間に合いますので、ぜひ町内の方や会社の仲間、友人等と一緒に受講してください。

日時 令和4年1月22日㊤、23日㊦
両日とも午前9時～午後5時半
会場 能登空港ターミナルビル
41～43会議室

締切日 12月1日㊤

※受講料、試験料、登録料は県・町が負担します。
受講希望者は、総務課危機管理室までお申込みください。

☎総務課危機管理室 ☎ 62-8533

災害に強いまちを目指そう！

能登町防災士会

「命を守る」

あなたも防災士になりませんか？

いつどこで起こるのか誰にも予測できない災害。災害が発生した時、多くの人はパニックに陥ってしまいます。そんな時、その場にいと安心なのが、防災や減災に関する知識や技能を持ち、リーダーシップをとることができる人。リーダーを起点に素早い対応ができれば、被害の拡大を最小限に抑えることができます。

防災士の資格を取得して、あなたも防災や減災活動のリーダーとして活動してみませんか。

町防災士会では、「自助」及び「共助」の原則のもと、会員のネットワークを構築し、防災士としての活動と技術のスキル向上を支援することを目的として活動しています。資格を取得したら、ぜひ能登町防災士会に登録して（登録費1,000円）、私たちとともに活動しましょう。

能登町防災士会は、地域を守る防災士育成事業を応援しています。

☎能登町防災士会事務局（総務課危機管理室内） ☎ 62-8533



日本防災士会イメージ
キャラクター『防サイ君』

町への応援ありがとうございます

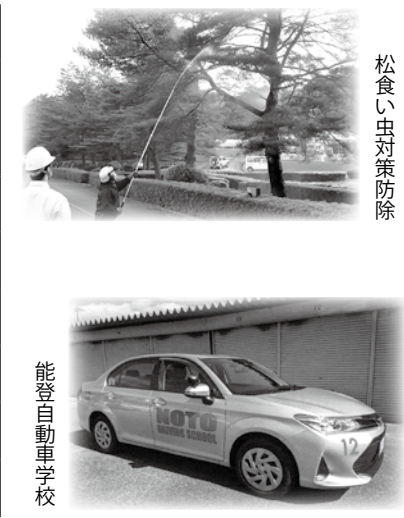
ふるさと能登町応援寄附
(ふるさと納税)

令和元年度中に全国の寄附者様から能登町にいただいた寄附金は、8,157件 198,477,000円となりました。
寄附金は、ふるさと振興基金として運用した後、令和2年度の下記事業に有効活用しました。

令和2年度活用推進事業	
事業の種類（寄附金の使い道）	事業名
地場産業の育成事業	創業・継承支援／いか釣り漁業経営資金緊急対策・大和堆漁場保全対策・漁船特殊保険加入支援
移住・定住促進対策事業	定住促進（定住促進助成金、雇用促進助成金）
子育て・社会福祉活動事業	配食サービス／母子保健推進
教育水準の向上事業	小・中学校教育振興（学習支援ソフトの更新）
防災・防犯対策事業	防犯灯省エネルギー対策補助／防災備蓄品
環境保全対策事業	松くい虫対策防除
その他町長が必要と認める事業	すこやか赤ちゃん祝い金／能登自動車学校支援

ふるさと納税制度とは？

生まれ育ったふるさとや、ご自分が応援したいと思う自治体へ直接寄附ができる制度です。寄附金のうち2,000円を超える金額について、所得税の還付、住民税の控除が受けられます。また、寄附者ご自身で寄附金の使い道を指定でき、地域の名産品などの返礼品をいただくこともできます。



○町外の方にぜひご紹介ください！

能登町へふるさと納税いただくと、町外在住の人には返礼品をお贈りします（町内在住者には返礼品はお贈りできません）。
「能登町が好き！」「能登町を応援したい！」という町外のお知り合いに、ふるさと納税申し込みサイトをご紹介します。

ふるさと納税申込サイト
「ふるさとチョイス」能登町ページ
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/17463>

ふるさと振興課
☎ 62-8526

◇返礼品取扱い事業者 募集中

ふるさと能登町応援寄附による能登町への寄附促進と地場産業の振興を図ることを目的に、ふるさと納税をした方へ返礼品として贈呈する商品やサービスを取扱う事業者を募集しています。

事業者の要件	主な業務
①～③全てに該当している者	①パソコンなどを使い、ふるさと納税申込サイトに返礼品を登録する。
①町内で生産、製造、加工等が行われている商品を取扱っており、寄附者に発送できる者。	②寄附者の申し込みに応じて返礼品を発送する。
②町内に本社（本店）、支社（支店）、事業所又は工場がある法人・団体又は個人事業者であること。	③返礼品代金を町へ請求する。なお、送料は町が負担します。
③町税の滞納がないこと。	
返礼品の要件	応募方法
①または②に該当していること	町ホームページから「返礼品取扱い事業者申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、関係書類を添え、ふるさと振興課へご提出ください。
①町内で生産、製造、加工等が行われている商品であること。	
②町内で提供されるサービスであること。	



児童虐待とは

身体的虐待
殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など
ネグレクト
家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病氣になっても病院に連れて行かない など
性的虐待
子どもへの性的行為、性的行為を見せる、パルノグラフィの被写体にする など
心理的虐待
言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（DV） など

虐待を受けていると思われる子どもを見つけたときや、子育てに悩んだときはお電話ください。

- ①健康福祉課児童福祉係 ☎ 62-8513（平日 8:30 ～ 17:15）
役場日直・宿直 ☎ 62-1000（平日 17:15 ～ 8:30 ／土日祝）
- ②児童相談所全国共通ダイヤル
イチハヤク ☎ 189

女性に対する暴力をなくす運動
11月12日～25日
ひとりでもまずは相談！

町中央図書館前、柳田教養文化館、松波図書館にて、みなさんにメッセージカードをご記入いただくコーナーを設置しています。お立ち寄りの際は、お気軽にご記入ください。

昨年の様子

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

夫・パートナーからの暴力やストーカ ーなどの事案は、依然として数多く発生しています。これらの女性をめぐる様々な人権問題の解決を図るため、相談実施時間を延長します。

金沢法務局職員および人権擁護委員が秘密厳守、無料で受けけます。お気軽にご相談ください。

期間 11月12日(金)～18日(木)
時間 平日 8:30～19:00、土日 10:00～17:00
電話番号 0570-070-810
※平日は金沢地方法務局、土日は名古屋法務局につながります。

オレンジリボンには「児童虐待防止」というメッセージが込められています。1人でも多くの方々に「児童虐待防止」に関心を持ってもらい、子どもたちの笑顔を守るために1人ひとりに何が出来ののかを呼びかけていく活動が「オレンジリボンキャンペーン」です。

配偶者などからの暴力（DV）や性暴力は、犯罪にもなりうる重大な人権侵害です。これを広く知っていただき、「暴力を許さない」という意識を社会全体で育むために実施していく活動が「パープルリボンキャンペーン」です。

11月は
オレンジリボンキャンペーン（児童虐待防止推進月間）
パープルリボンキャンペーン（女性に対する暴力をなくす運動月間）**です**

「ノトクロスポート」

10月26日 オープン！

公益財団法人日本財団の「わがまち基金」を活用した活動交流拠点「ノトクロスポート」が完成し、10月26日、大安の日にオープンしました。

この拠点では、能登町定住促進協議会が実施主体となり興能信用金庫・能登町・能登町商工会が連携して、町が直面している人口減少や高齢化などの課題解決に向けたプラットフォームを構築し、町の強み・特性を活かした地域外からの稼ぐ仕組みづくり、関係人口創出などに取り組みます。



この名称は、拠点が位置する宇出津が古くから交流や交易で栄えてきた港町であり、人×人、能登×人などが交わり、新たに生み出される場所になるようお願いを込めて決められました。



活動交流拠点
NOTO CROSS PORT
(ノトクロスポート)

〒927-0433

能登町字宇出津タ字 75 番地 3

☎0768-62-0260

営業日
平日 10 時～16 時
(来年度以降、順次拡大予定)

移住定住の相談窓口が
「ノトクロスポート」
に移転します

これまで役場ふるさと振興課内にあった能登町定住促進協議会の相談窓口をこの拠点に移転し、スタッフが常駐します。

移住に伴う住まいや仕事探しなどの相談や、移住後の定住に向けたお悩みなどのご相談は、「ノトクロスポート」までお越しください。

移住者を含む、起業や創業・継業・事業承継に関する相談も興能信用金庫や町商工会と連携し対応します。

また、町内外の大学生や中高生向けに、WIFI環境を整え、自習などに活用できるフリースペースや、関係人口交流・構築に活用できるワークスペースも併設されています。



U・Iターンの者の雇用の確保のため、 2つの助成金制度があります



企業・団体へ 雇用促進助成金

●対象

本町に事業所を有する企業・団体が、本町内で新規学卒者またはUターン者・Iターン者（本町に住居登録前後1年以内の雇用）を正規雇用し、それにあたる雇用期間が6か月を超えて引き続き雇用している企業・団体。

※次の場合は該当しません。

・農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法による事業を行う場合

・病院、診療所、金融機関

・町税等を滞納している場合

●申請期間・交付期間

採用後7か月目から6か月間（申請期間は、採用後1年以内）

●助成金額

1人につき月額基本給の3分の1以内（限度額5万円/月）

※令和3年4月に新規で採用している場合は今年度中に申請ください。

◎申請方法

町ホームページから交付申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、ふるさと振興課へ提出ください。

個人へ 定住促進助成金

●対象

①本町もしくは通勤圏内に事業所を有する企業・団体に新たに就業し、就業期間が1年を超えて引き続き就業している者

②雇用保険の適用を受け、健康保険に加入している者

③U・Iターン者は、本町に住居登録前後1年以内に就業していること

※次の場合は該当しません。

・同一企業内での転勤により住民登録をする場合

・国家公務員法または地方公務員法の適用を受ける場合（会計年度任用職員を除く）

・町税等を滞納している場合

・能登町新人・再就職介護従事者就業支援給付金支給を受けている場合

●申請期間

初年度の申請は、就業または住民登録した日のいずれか遅い日から起算して1年を経過した後、90日以内

●助成金額

10万円。1人1回まで（申請年度5万円、翌年度5万円）

☎ふるさと振興課 ☎（62）8526

令和3年度能登高校を応援する会 給付型奨学金

町の将来を担う志ある学生を応援します！

能登高校を応援する会では、能登町立中学校を卒業し、能登高校に進学する者で成績優秀者について奨学金を給付しています。

☎ふるさと振興課地域戦略推進室 ☎62-8527

【支給金額】

月額2万円 × 高校3年間

【募集人員】

おおむね5人※選考委員会にて選考を行います

【応募資格】

令和4年3月に能登町立中学校を卒業見込みで、同年4月に県立能登高等学校に進学予定の者
※応募は申請書により、保護者が行います

【提出書類】

- 申請者用意分
- ①給付型奨学金申請書（様式第1号）
- ②給付型奨学金エントリーシート

【提出先】

〒927-0492 能登町字宇出津ト字 50 番地 1
能登町ふるさと振興課地域戦略推進室
能登高校を応援する会担当 宛

【結果通知】

令和4年2月10日頃

【その他】

- 給付を受ける生徒の名前は公表しません。
- 退学や転校による資格の喪失に伴う奨学金の返還規定はありません。
- 成績不良の場合、受給資格の喪失があります。※詳しくはお問い合わせいただくか、町ホームページをご覧ください。

お知らせ

多重債務者無料相談会を
開催します

石川県、金沢弁護士会、石川県司法書士会、日本司法支援センター石川地方事務所（法テラス石川）は、奥能登広域圏事務組合と協力し、借金でお悩みの方を対象に、弁護士・司法書士等による無料相談会を開催します。

中小事業者・個人事業者の方からのご相談も受け付けます。

日時 11月16日⑧

9時半～12時半 13時半～16時半

場所 奥能登行政センター（能登空港ターミナルビル）4階 43会議室

申込締切 11月12日⑨まで

（事業者相談は11月10日⑧まで）

申込・問合せ先

奥能登広域消費生活センター

☎0768（26）2307

お知らせ

認知症講話・専門相談

精神科医師が認知症の正しい知識の普及を目的に講話を行います。

講話後、ご希望に応じて、精神科医師による個別相談を実施します。申込み不要・参加費無料ですので、お気軽にご参加ください。

なお、新型コロナウイルスの感染状況により、急きよ実施できない場合がありますので、ご了承ください。

日時 11月24日⑧ 14時半～16時

場所 白丸コミュニティ施設

講師 平松茂 医師（公立能登総合病院精神センター長）

※個別相談は事前予約が必要です。相談を希望される方は11月17日⑧までに
お問合わせください。

健康福祉課地域包括支援センター

☎（62）8516

お知らせ

第3回「婚活相談会」開催

秘密厳守・無料で相談に応じます。
（お見合い相手の紹介ではありません）

日時 12月2日⑧ 10時半～15時半

※相談時間は1回約30分

場所 役場1階

対象 独身者本人、能登町在住の親御さん・親子でもOK

相談員 県の縁結びi s tの方が出張して対応します

申込締切 11月22日⑨

※完全予約制 定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

申込・問合せ先

住民課 ☎（62）8510

ニュース

神和住・中斉の歴史文化を学ぶ
「さいわの里ウォーク」開催

町ウォーキング協会の「さいわの里ウォーク」が9月25日に行われ、参加者74人が神和住と中斉の寺社や旧小学校跡などを巡りました。

合同ウォークは2年ぶりの開催で、町教育委員会事務局の学芸員が案内役を務めました。参加者は江戸時代に能登で観測されたオーロラに関する古文書が残される神和住の真宗大谷派真念寺を出発し、中斉の町天然記念物「芦田家ののとキリシマツツジ」、龍伝説が残る八幡神社、斉和の自然体験施設「ケロンの小さな村」を訪れ、地域の歴史・文化・自然を肌で感じていました。



ニュース

特殊詐欺を未然防止
警察署長感謝状贈呈

9月29日、詐欺の被害を未然に防いだファミリーマート能登柳田店と同店従業員の森有紀子さんに干場珠洲警察署長から感謝状が贈られました。

森さんは、8月、高齢男性が電子マネーカードを探していたのを不審に思い、詐欺を疑って通報するよう促したことと被害防止につながりました。

また、今回2回目の詐欺防止となる同店には「被害防止優良店」のプレートが交付されました。



感謝状を受け取った森有紀子さんと
プレートを掲げる干場署長

ニュース

能登町社会福祉大会
福祉発展の貢献者を表彰

10月8日、内浦総合支所で第13回能

ニュース

道路功労者表彰受賞

道路功労者表彰は、道路整備事業の推進や道路愛護・美化保全等に尽力された団体・個人に対し、公益社団法人日本道路協会が行っているものです。

本年度、町から次の団体・個人が、長年の功績をたたえられ、表彰されました。おめでとうございます。

●石井区

昭和63年から現在まで、流雪溝の維持管理および道路除雪に積極的に協力し、冬期間の道路交通の確保に貢献しています。

●上田三夫氏 宇出津山分Ⅱ

平成5年から現在まで28年にわたり、能登町役場の技能職員として道路補修作業、建設機械の運転等に従事し、道路維持管理の充実に貢献しています。

ニュース

「子どもたちの目の健康」
県女性県政会議で発表

9月11日、珠洲市のラポルトですぐで県女性県政会議能登地区が開催されました。知事を囲み、地域の課題を女性ならではの視点で発表し、要望・提言する会議で、奥能登2市2町から約200人が出席しました。

登町社会福祉大会が開催されました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため規模を縮小して行なわれました。

町社会福祉協議会会長を務める大森町長が式辞を述べ、永年の活動により社会福祉事業に功績のあった、社会福祉事業従事者37人、社会福祉事業関係団体役員10人と、ボランティア活動をおこなっている3団体が表彰を受けました。受賞者を代表して、能登町赤十字奉仕団の相場清一さんが、「これからも誠心誠意努めていきたい」と謝辞を述べました。

ニュース

新任ALTに辞令交付

10月11日、能登町の新たなALT（外国語指導助手）として着任した、アメリカ・ロードアイランド州出身のマロイ・イアン・マクグラシャンさんに対する辞令交付式が行われ、眞智教育長から辞令が手渡されました。

任期は令和4年7月31日までです。宇出津・松波・小木小、松波・小木中を担当します。マロイさんは、ゴジラなどの怪獣映画が好きで日本に興味を持ち、大学では日本を含む東アジアの歴史について学びました。辞令交付の後、大森町長にあいさつに訪れ「教師

町婦人団体協議会からは小間生婦人会会長の南和美さんが「未来に生きる子どもたちの目の健康」について発表し、ライフスタイルの変化の中で、子どもたちの目に異変が起きており、子どもの頃から目に負担をかけないことの重要性を訴えました。

近視への理解を深めた谷本知事は、「リーフレットなどで予防や啓発を行う」と述べました。

ニュース

がん検診受診PR・
自殺予防キャンペーン実施

9月11日、ショッピングセンターアルプとホームセンターサシ能登店のご協力を得て、ボランティアグループ健康づくり推進員6人が、がん検診の受診勧奨やこころの相談窓口のPR活動を行いました。来店していた町民らは検診に関する質問をしたり、推進員の話に耳を傾けていました。



推進員の話に足を止める来店者

としては初めてですが、日本で働くことが「楽しみ」と話しました。



眞智教育長から辞令を受け取るマロイ・イアン・マクグラシャンさん

お知らせ

第4次能登町行政改革大綱
初年度実績を確認

町では、第4次行政改革大綱およびアクションプランに基づき、「町民協働のまちづくりと持続可能な行政運営の推進」を基本目標とし、『①持続可能性を確保した財政運営』『②事務事業の見直し』『③公共施設の総合管理』『④行政サービス等の向上』の4つの基本方針に則して取組んでいます。

10月8日、能登町行政改革推進委員会が開かれ、第4次の初年度となる令和2年度の実績報告について審議しました。会議では、能登町公共施設個別施設計画についても説明されました。

いいみらい

11月30日は、年金の日です

厚生労働省では、「国民お一人お一人、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、11月30日（いいみらい）を「年金の日」としています。この機会に、ご自身の年金記録や年金見込額を確認し、将来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」を利用いただくと、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、次のようなさまざまな機能がご利用いただけます。

○将来の年金見込額の試算 ○電子版「ねんきん定期便」の閲覧 ○受給に関する各種通知書の確認 など

利用方法

○マイナポータルからログイン

○日本年金機構のホームページからログイン

詳しくは、ねんきんネット（日本年金機構ホームページ）をご覧ください。

詳しくは「ねんきんネット」で検索

ねんきんネット

検索

https://www.nenkin.go.jp/n_net/

☎七尾年金事務所 ☎0767-53-6511

5団体の地域資源活用ビジネス支援事業に150万円の助成額が決定

地域資源等を活用した特産品の販路開拓や販売促進を行う個人、団体および中小企業に対し支援を行う制度の審査会が9月21日に行われました。

当日は、申請した団体が、審査委員に対して、プレゼンテーションを行い事業の内容を説明しました。審査の結果、次の5団体に対し支援することが決定しました。

団体名	事業名	支援決定額 (交付決定額)
ふくべ鍛冶	インフルエンサーマーケティング活用したポチスパ販路開拓事業	30万円
農事組合法人 のとっこ	おかずしいたけのパッケージ改良と味の改良事業	30万円
汝惣里ダイニング	「おうちダイナー」シリーズ【能登豚チャーシュー】	30万円
合同会社 能登みらい創造ネットワーク	植物公園オリジナルブランド【HOSHI HANA SELECT】における総合ブランディング事業	30万円
ひらみゆき農園	大粒プレミアムブルーベリーの商品化事業	30万円
計 5団体		150万円

募集しています！ 統計調査の登録調査員

町では、「国勢調査」をはじめとする各種統計調査において、統計調査員として活動していただける方を随時募集しています。

仕事の内容

- ・調査員事務打ち合わせ会への出席
- ・調査の準備（調査地域の確認・調査票配布のための書類準備等）
- ・調査票の配布・回収・点検・提出
- ・調査員としての従事期間は2か月程度

条件

20歳以上で、次の3つを満たす人

- ①秘密の保持に信頼がおけるなど、統計調査員としてふさわしい人
- ②調査期間中、調査活動に専念でき、調査に熱意のある人
- ③選挙関係者及び税務・警察に直接関係のない人

身分

調査の都度任命される非常勤の公務員

報酬

調査の種類や受け持ちの件数により、1調査あたり3～5万円程度

興味のある方は、お問合わせください。

詳しい内容は、町ホームページにも掲載しています。



☎企画財政課 ☎62-8535

ニュース

能登高で語学留学生受入れ 能登や日本文化を体験



真剣な表情で花を生けるサトさん

県立能登高校では、スイスから1か月の短期語学留学生を受入れました。10月4日、留学生のサト・ラングマイヤーさんの歓迎式が行われました。サトさんは母親の母国である日本への留学を希望し、海の近くにあり、農業の体験ができる能登高校を選びました。29日まで2年の地域産業科で授業を受け、寮生活を送りました。サトさんは、テスト期間を利用し、実習船「おおとり丸」への乗船やアーチェリーに挑戦したほか、茶道や華道、書道などの日本文化も体験しました。茶道体験では、慣れない正座に苦戦するものの、「おいしい」と笑顔も見せていました。

2021 能登里山里海 創業塾

起業・創業したい方、悩んでいる方、迷っている方、ぜひ受講してみませんか。PCによるオンラインでの受講も可能です。

第4回「販路開拓」

日時 11月13日④ 16:45～18:15

会場 金沢大学能登学舎
珠洲市三崎町小泊33-7

申込み・問合せ先

金沢大学能登学舎

Tel 88-2568 Fax 88-2899

mail meister@zdm.kanazawa-u.ac.jp

「能登里山里海 創業塾」とは
マイスタープログラムと興能信用金庫が開講する創業者支援プログラムです。能登での創業に必要な知識をシリーズの講義で学びます。

募集 陸上自衛隊高等工科学校生徒

募集種目 陸上自衛隊 高等工科学校生徒

募集人員 推薦…約90名、一般…約260名

応募資格 15歳以上17歳未満の男子(令和4年4月1日現在)

受付期間

推薦…11月1日④～12月3日④

一般…11月1日④～令和4年1月14日④

試験期日

推薦…令和4年1月8日④

一般…1次・令和4年1月22日④

2次・令和4年2月3日④～6日④までの指定するいずれか1日

入 校 令和4年4月上旬

試験科目 国語、社会、数学、理科、英語（以上、中学校卒業程度）、作文

☎自衛隊石川地方協力本部能登地域事務所 ☎0768-52-4175

小木小学校「北國あすなる賞」受賞 一郷土の海を守る活動に励む



受賞を報告した小木小6年生豊田君（左から2人目）と六田校長（同3人目）

「北國あすなる賞」を受賞した、小木小学校里海科学学習グループが、10月18日、役場を訪れ、受賞報告を行いました。

小木小学校では、1年生から海の生き物を観察するなど、海に親しみ、5・6年時には、学校独自の教科として海洋教育「里海科」を設け学習しています。

児童らは海洋教育の充実を図るため、里海科や総合的な学習の時間を用いて、海洋ごみの調査やごみ減量化の啓発に取組み、地元の海を守る活動に励んできました。

令和2年度には、地域の環境問題や海洋ごみについて学習した5年生が、町内のごみ調査を行い、海洋ごみ削減動画を作成しました。6年生では、これまでの海洋ごみ問題の学習を基に、ごみの減量化に向けたアイデアを具体的な提言としてまとめ、「みんなに聞いてほしいこと」として、町長と教育長に発表しています。

六田校長とともに報告に訪れた6年生の豊田蒼士君は「自分たちが取り組んできたことが表彰されてうれしい。ごみは無くならないので、これからも活動を続けていきたい」と力強く話しました。

楽カしく学びながら考えよう

10月3日、鵜川小学校PTAによる「防災スタンプラリー」が行われました。能登消防署や地区の消防団、防災士会が協力し、親子ら約80人が参加しました。体育館や校庭には、防災に関するクイズや新聞紙を使ったスリッパ作り、消火器の使い方など、7つのブースが設けられました。参加者らは、スタンプラリー形式で順に回り、楽しみながら防災に関する知識を深めていました。



布担架の作り方や運び方を学ぶ参加者ら

糸イトの織りなす世界に魅了

柳田在住の糸かけデザイン研究所所属講師・水上舟靖さんの作品展「糸かけアート展2021」が10月4日から22日まで、柳田総合支所で開かれました。糸かけとは、板に打ち込んだピンに糸を掛けて幾何学模様を作っていくアート。使う糸や素材、ピンの打ち方や糸の渡し方により様々な表現が可能です。赤い月や蓮、歯車をイメージした作品が並び、来所者は糸の織りなす世界に引き込まれていました。



糸かけアートの鮮やかな世界に見入る来所者

御霊に追悼の辞をささげる吉田会長



恒トコ久平和への祈りを込めて

町戦没者追悼式が10月1日、役場里山ホールで開かれました。町遺族連合会の役員と町職員ら約50人が参列し、1455柱の御霊に祈りをささげました。式辞では大森町長が「尊い犠牲の上に築かれた繁栄を継承し、命と平和の尊さを語り継いでいく」と誓いの言葉を述べ、吉田源兵衛会長が追悼の辞を述べました。昨年はコロナ禍により中止された慰霊法要も執り行われました。

のこぎりを使い玉切りをする生徒ら



シイタケの原木作りに挑戦

10月18日、能登高校地域産業科1年・生物資源コースの生徒ら20人が、「ケロンの村」でシイタケの原木作りを行いました。生徒らは、原木にするコナラを伐採しました。ナタで小枝を落とし、ノコギリで玉切り（約90cmの長さに切る）し搬出します。乾燥させほだ木にした後、来年3月に植菌し、11月頃に初めて収穫します。また、切り落とした小枝や端材は薪として有効活用されます。

オオータムキャンプで秋の1日を満喫

9月25日、不動寺みどりの少年団オータムキャンプが行われ、団員や保護者ら約50人参加しました。例年、夏に行っているキャンプが中止となり、代替え行事として、団員らが中心となり企画しました。

はじめに向かったのは、中斉にある「ケロンの小さな村」です。村長の上乗さんから説明を受けた団員らは、山頂へ上り、斜面にモミジの植樹を行った後、遊具や川、山遊びを楽しみました。

次に向かったのは、瑞穂の寺西牧場です。ここでは、飼育されているジャージー牛と牧草地を歩



いたり、えさやりや搾乳を体験しました。

公民館へ帰り、カレーの夕食を終えた団員らは、天体観測やスウェーデントーチを用いたキャンプファイアを行い、秋の1日を存分に楽しみました。

寺西牧場では直接、牛に触れ合うことができる



丁寧にモミジの木を植える団員ら

ココロナ禍に負けず酒造りに励む

9月26日、松波神社で、能登杜氏組合能登町支部の例大祭が行われました。

日本酒の本格的な仕込みシーズンを前に、杜氏や町内の酒蔵の代表者ら約20人が酒造りの成功と作業中の安全を祈願しました。中鎮夫支部長は、「お酒の需要は減っているが、気持ちを新たにおいしい酒を造りたい」と意気込みを語りました。杜氏らは、県内や滋賀、兵庫県などの酒蔵で、来年3月頃まで酒造りに励みます。



今季の酒造りの成功を祈願する杜氏ら

手作業で米を収穫する協議会メンバー



当タビ目で「昇龍道米」を稲刈り

北陸と東海を結ぶ観光ルートでの誘客促進に取り組む昇龍道ドラゴンルート推進協議会のメンバーら15人は9月25日、当目で棚田米の稲刈りに汗を流しました。「昇龍道米」としてパッケージし、バイカー誘客のためのプレゼントとして活用します。

協議会の多田空仁彦理事長と親交のある女優の若村麻由美さんも参加。「子どもの頃の山村体験以来で懐かしき思いながら作業ができた」と話しました。



木造聖徳太子立像

像高 152.8cm、寄木造で玉眼がはめ込まれ、盛上げ金泥彩色が施されている。尊顔は張り気品に満ちており、写実的な線を強調した袈裟のひだや、優美な彩色は狂いがなく、整っている。製作は鎌倉時代とされ、明治 13 年（1880 年）の出火時に損傷した右美豆良・香炉・沓は後補であるが、保存状態は良好である。

松波松岡寺に所蔵される木造聖徳太子立像は、いわゆる聖徳太子孝養像と呼ばれるものです。太子が 16 歳のとき、父である用明天皇が病気で伏せられたため、薬を差し上げたという逸話が題材であるとされます。

本来は、奈良興福寺に所属する寺院の本尊でしたが、明治維新の折に住職が還俗（出家した僧侶から一般人に戻る）として神主になることになったため、本尊をどの様に取り扱うか問題となりました。そうした中、僧侶の実家である京都の公家葉室家と親戚関係にあった松岡寺が引き受けることになり、当寺の所蔵となったのです。

■木造聖徳太子立像

その参拝者

教育委員会事務局
☎ 62-8537

のとうちよう

歴史と文化のトビラ

のと里山空港

のと里山空港賑わい創出実行委員会
☎ 0768-26-2303

■のっぴーグラスづくり

“アマビエのっぴー”
と 12 種類の絵柄



日時 11月14日⑥
時間 10:00～12:00／13:00～15:00
場所 のと里山空港 4階

生涯学習センター能登分室
参加 無料 一家族1個程度
(子ども連れの場合は子どもの数分)

※事前予約を受付します。電話で申込みください。

【コロナ対策】会場は、人数制限等を実施します。
・参加者は、マスクを各自で着用して参加すること。

限定
50 個

■のと里山空港ロビーコンサート

「社会福祉法人つばさの会」による演奏会

日時 11月28日⑥
時間 14:00～
場所 のと里山空港 2階ロビー
出演 社会法人つばさの会（中能登町）

※新型コロナウイルス感染症の状況により、イベントが中止となる場合があります。イベントの詳細および開催状況につきましては、ホームページにて最新の情報をご確認ください。

<https://www.noto-airport.jp/info/index>



芸術の秋 作品展へのお誘い

町文化祭は実施しませんが、部門ごとに作品展を開催します。

部門	会 期	会 場	内 容
絵画	11 月 5 日⑤～ 24 日⑥	町立美術館	能登町絵画展
短歌	11 月 18 日⑥～ 30 日⑦／ 12 月 1 日⑥～ 15 日⑥	コンセールのと／柳田公民館	能登短歌会作品展
写真	11 月 18 日⑥～ 30 日⑦	コンセールのと	能登町写真クラブ写真展

続☆星のささやき

「部分月食」



11 月 19 日には日本全国で部分月食が見られます。能登町では 16:35 の月の出から 19:47 の月食終了までの 3 時間ほど、月が欠けていく様子を観察できます。月が一番深く欠ける食の最大は 18:03 です。今回は部分月食ではありますが、月の 98%ほどが欠けるので、ほぼ皆既月食だと思ってもいいかもしれません。食の最大の頃には赤銅色の月が見られそうです。月食の観察は肉眼で十分楽しめますが、双眼鏡で見るとより一層おもしろいです。

月食は全国同じ時間で進行します。このことを利

星の観察館「満天星」
☎ 76-0101



用して、昔は時差（経度の差）を測るために月食の観測が行われていました。日本地図の作成に尽力したことで有名な伊能忠敬も、天文学を学び月食を観測していたようです。忠敬らが全国各地を測量して作成した日本地図が完成してから、今年で 200 年をむかえました。昔からたくさんの方がいろいろな思いで眺めてきた月食を、皆さんも眺めてみませんか。

★熟睡プラザトリウム

勤労感謝の日にあわせて…今年で 9 回目！

星空の下でぐっすり眠りたい方のためのプラネタリウムです。クッションや毛布などの持ち込みも OK です。

日 時 11 月 23 日④・⑥
① 11:00 ② 13:00 ③ 15:00 各回 50 分
定 員 各回 30 名
参加費 無料
予 約 お電話でご予約ください☎ 76-0101
※ 11 月 3 日⑥・⑦ 9:30 から受付
その他 マスク着用。途中入場はできません。

うみとさかなの 科学館

☎ 62-4655



■今月の教室

自分だけのオリジナルカレンダーや海藻しおりを作ってみよう！

カレンダー工作



海藻しおり工作



未就学児は保護者が付き添いの上、一緒に 1 つの工作を作ってください。

受付時間 9:30 ～ 11:00 / 13:00 ～ 15:30
費用 無料
休館日 毎週月曜日

のと海洋ふれあい センター

☎ 74-1919

FAX74-1920

E-mail : nmci@notomarine.jp

■ヤドカリ学級 食用海藻をさがそう！

冬は海藻が元気に伸びはじめる季節。磯に出て食用に利用されている海藻をさがします。

開催日 12 月 12 日⑥
時間 10:30～12:00
定員 3 組

(家族または 5 人程度のグループ)

場所 のと海洋ふれあいセンター

参加 無料(高校生以上は入館料 210 円)

※マスク、暖かく動きやすい服装、長靴などの持参・着用をお願いします。

